

清新中学校だより 清風

令和4年2月1日
第192号

自分を信じているか

校長 江戸谷 智章

令和3年度版の「子供・若者白書」が内閣府ホームページに公開されています。次代を担う子供や若者の健やかな成長が日本社会の発展の基礎をなすという趣旨から、2010年に調査が始まったものです。この調査結果から毎年話題に上がるものに、日本人の自己肯定感の低さがあります。今回の調査においても、自己肯定感が高い子供の割合は前回調査と比べると若干増加しているものの（前回の44.8%から1.7%増）、自分は役に立たないと感じている子供も半数近くいる（49.9%）ことがわかりました。

とりわけ日本の若者たちの自己肯定感が低い主な理由としては、「他人に迷惑をかけない子に育ててほしい」といった親の子育て観が過度になりすぎ、自己肯定感を高めるのに大切な「自分で判断・行動することで得られる成功体験」への弊害となっているということ。また、他国の若者たちは、自分の評価は自分自身で分析し改善しているのに対して、日本の若者は、自分以外の他人からの評価を過剰に気にする傾向にあることなど諸説あるようです。例えば自分自身の子供の頃を振り返ってみても、「〇〇してみたら」といった言葉がけよりもはるかに「〇〇しちゃだめ」という言葉を親からよく言われていて、どことなく親の顔色を見ながら行動していたことを思い出します。

皆さんは河原成美さんという人をご存知でしょうか。ラーメン「一風堂」の創業者というと身近に感じる人もいるかもしれません。実は河原さんが語る言葉の中に、自己を見つめる上でとても興味深い言葉があったので紹介したいと思います。

河原さんは今でこそ、ラーメン「一風堂」を中心に、世界15カ国に約300店舗を展開する実業者となっていますが、商売を始めるようと思い立った当初は気持ちばかりが空回りし、まったく自分に自信がなく、常に「自分に対する不安」ばかりが心の中につきまといまわっていたといいます。そのことを彼は自伝の中で次のように自問自答しています。

「俺、覚悟を決めて頑張ります」といえば、他人はだませるかもしれない。しかし、内側にいるもう一人の自分は、自分のことを一番よく知っていて、「いやいや、無理でしょ。これまで何一つとして成し遂げられなかったじゃん」・・・(注)と。

そこで彼は、あらためて自分自身との信頼関係を築きなそうと、ある種、覚悟ともいえる約束事を3つ作ったといいます。その約束というのが、①3年間は休まない、②売り上げゼロの日をつくらない、③35歳までには天職に会うというものだったといいます。

でもどうでしょう、河原さんが直面したような悩みは、少なからず私たちの心の中にもあるような気がします。私たちは何かの目的を達成しようと目標や決意を定めたはいいいけれど、ある小さな挫折がきっかけになって、これまでの頑張りがきかなくなり、結局、毎年同じような目標を立てているようなこと（私だけか・・・）。河原さんはあらためて自分自身を深く見つめたことで、これまでの自分に欠けていたものが「自分からの信頼」であることに気づき、まずは自分との約束を守ることから始めたというのです。

ここで言葉遊びをするつもりはないのですが、日本の若者（大人も含めて）を語る上で、「自己肯定感」や「自己有用感」の低さがいつも問題になります。確かにその側面として、成功体験の乏しさから自分に自信がなく、それでいて他者に認められたい思いが強いあまりに、自分の意志とは別に周囲と同調してしまう傾向があるというのはわからないでもありません。しかし河原さんの気づきにもあるように、何かを成し遂げていくためには「自分への信頼感（自己信頼）」が根底になくして前には進めないようにも思うのです。ましてや自分を信頼できない人が、他人を信頼することなどできるはずありません。

「七転び八起き」。私はこの言葉が好きです。人生は転んで当たり前なんだと思うのです。未熟な私たちは何度も転ぶだけけれど、でも最後は立ち上がれる自分をつくっておく。自分でやると決めた事は、たとえ**自信などなくても頑張ってみる**。これまで歩んできた自分を否定することなく、「あせらず、くさらず、あきらめず」に半歩でも足を踏み出せたら・・・と自分を鼓舞している私です。



(注)『一流になる人の20代はどこが違うのか』(致知出版社)から一部抜粋

「目標を持って努力すれば、結果はあとからついてくることを信じて」

教務主任 薬袋 剛紹

新型コロナウイルス感染症が広がり始めて2年。2020年度は多くのことが延期や中止となったが、2021年度は感染症対策をした中、オリンピックやパラリンピック、そして多くの大会・コンクールなどが開催された。参加者たちは制限がある中だったが、自ら掲げた目標を達成するために練習に取り組み、本番での結果は別として最高のパフォーマンスを魅せられるように全力を注いだことだと思う。今年の正月に開催された箱根駅伝でもそんな場面を見ることができた。優勝した大学は、結果の残った選手を登録したこと、走った選手が大崩れせず最後まで走り抜いたこと、選手の特性を活かして適材適所に配置した作戦が的中したこと等が要因で優勝したと思う。でもこれだけではなく、選手が1年間、優勝することを目標に練習に取り組み、常にさらなる高みを目指し、自分自身に負けずに努力したことも優勝した一因だと感じた。



日常生活でも勉強でも同じだと思います。目標を掲げて、それを達成するために取り組んでいるところまではできている。その結果を振り返ることなしに、ただできなかったと諦めてしまっている姿があったりする。これでは大きな成長ができない。結果が出たあと、どのように振り返り、次につなげ、新たな道に進むことが大切である。

2月になれば多くの3年生は志望校の受験を迎える。もちろん、1年生も2年生も学期末のまとめの時期を迎える。自分なりに掲げた目標を達成するために、残りの少ない時間を大切に努力し続けてほしい。そして、進級を機に一度立ち止まって、自分の行動を振り返ることで何ができ、何ができていないのかを分析し、このまま進むべきか、少し進む方向を変えるべきかを考え、再び前を向いて進んでほしい。失敗を繰り返しながら進むことで自分の引き出しの中身を増やし、形や答えのない何か自分の力になるものを手に入れて、成長していくことを願っている。



2月の主な日程

※下記の日程につきましては、今後変更が予想されます。ご了承ください。

令和4年2月

- 1日 (火) 教育相談⑦
- 2日 (水) 全校集会
- 3日 (木) 諸活動なし
- 4日 (金) 共通選抜志願変更～8日
- 10日 (木) ときわぎ級中学校との交流
生徒会委員会 諸活動なし
- 11日 (金) 建国記念の日
- 12日 (土) 1・2年諸活動なし～17日
- 15日 (火) 1・2年定期試験①
共通選抜学力検査・特色検査
- 16日 (水) 1・2年定期試験②
共通選抜 面接等・特色検査



- 17日 (木) 1・2年定期試験③
共通選抜 面接等・特色検査
PTA本部会
- 18日 (金) 共通選抜 面接等・特色検査
3年エイズ教育講演
- 21日 (月) ときわぎ学年末保護者面談①
諸活動なし
- 22日 (火) ときわぎ学年末保護者面談②
- 23日 (水) 天皇誕生日
- 24日 (木) ときわぎ学年末保護者面談③
諸活動なし
- 25日 (金) ときわぎ学年末保護者面談④
生徒会中央議会
- 28日 (月) ときわぎ級お別れ会 諸活動なし